

決算特別委員会審査概要

決算特別委員会（浅石昌敏委員長）を、令和3年10月11日及び12日の2日間の日程で行い、令和2年度決算について、詳細な審査を行いました。

認定案件4件を審査した結果、いずれも認定すべきものと決しました。

一般会計（歳入）

質問 市税について、不納欠損額が昨年度と比較し大幅

に増えている。特に固定資産税の欠損額が増えているが、その理由について伺う。

答弁 主な要因は市内の2事業所の破産を受け、即時消滅による不納欠損処分を行ったことによるものである。

質問 森林環境譲与税に関連して、森林経営管理推進事業の進捗状況について伺う。

答弁 事業は3年目を迎え、今年度は市へ委託された森林のうち生産性が見込まれる経

済林について意欲と能力がある林業経営体へ再委託する。今後は生産性が見込まれない非経済林は市が直接管理することになるため、森林経営の調査費用や非経済林の管理を含め事業費は増加すると想定している。

一般会計（歳出）

質問 シンテツポウユリ産地拡大推進事業補助金と新規ブランド産品育成支援事業補助金について、効率のいい支援として次につなげる必要があると思うがその考えを伺う。

答弁 産地間競争が激化する中、地域の特性にあった農畜産物のブランド化を推進しなければならぬことから、支援内容や効果を精査した上で今後も支援していく。

質問 鹿角マルシェ推進事業の効果について伺う。

答弁 昨年度、経営移譲を行う際に組織の活性化を進めたことで生産者の構成員数が約60名から100名を超えるまでに増えているほか、今年度9月

の売り上げとしてはコロナ禍以前の売り上げよりも上回っている状況であることから事業を活用した効果が表れてきている。

質問 有害鳥獣被害防止対策事業について、熊による人身事故が毎年のように発生していることから、もっと積極的に捕獲できないか伺う。

答弁 通報があった際は速やかに現地を確認し、箱わなを設置することで可能な限り捕獲に向かう体制で対応している。被害を未然に防ぐための捕獲は、春先までの期間は秋田県の個体数調整捕獲による銃器での捕獲しか認められていないことから対応が難しい状況である。

質問 オンライン観光体験事業について、費用対効果についての認識と今年度の取り組みについて伺う。

答弁 本事業はライブ配信のほか事前には鹿角の特産品を送ることで参加者と交流を深めていき、コロナが収まった後に鹿角への来訪意欲を高めるといった狙いがあり、ライブ配信の専門的技術のレクチャーを受け

る内容も含まれていることから費用対効果が低いという認識はない。今年度は、配信動画の構成や企画力が高まったことから鹿角の魅力をより深く知ってもらえる商品を造成しながら実施している。

質問 みらい輝く人材育成事業について、鹿角GENKIカレッジの講習内容と参加者の年齢構成について伺う。

答弁 講座の内容としては、ノートイック講座・地域活性化講座・SNS時代の写真の撮り方講座・広報パワーアップ講座と、バラエティーに富んだ講座を開催している。塾生の年齢については、45歳くらいまでの方から塾生として登録していただいているが、今回の講座だけ参加したいという方がいれば、聴講生という形で年齢を問わず参加を認めている。

意見 文化財保存事業について、市内でユネスコの指定を受け登録されている文化財が3件あるが、これらの文化財が後世に残るよう若手の育成のためにもさらに力をいれてほしい。